



令和 5 年 8 月 24 日

各報道機関 御中

食料安全保障と持続可能な畜産のために私たちは何をすべきか？
～ 第 13 回宮崎大学産業動物防疫センター国際シンポジウムを開催 ～

この度、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC : Center for Animal Disease Control）では、第 13 回宮崎大学産業動物防疫センター国際シンポジウムを開催することとしましたのでお知らせします。

宮崎県では、2010 年に発生した口蹄疫により、約 7 万頭の牛と約 22 万頭の豚が殺処分されるという未曾有の惨事に見舞われたことから、2011 年に、日本で唯一の産業動物感染症を専門に扱う研究センターとして宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター（CADIC）が開設されました。CADIC では、アジアにおける産業動物感染症の研究拠点として最先端の研究を進めるとともに、国際協力機構（JICA）や県などと連携しながら人材育成を行い、日本人のみならず海外からも多数の学生や研究者を継続的に受け入れています。また、設立以来、年 1 回の国際シンポジウムを開催してきており、口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ、アフリカ豚熱などの悪性家畜伝染病に関する最新の知見や情勢などを提供してきました。

今回は、第 1 部において、カンザス州立大学（アメリカ）・ベンハー大学（エジプト）・農研機構動物衛生研究部門の 3 カ国 3 機関から講師を招き、「養豚場への侵入を防止するためのアフリカ豚熱対策」「エジプトにおける口蹄疫の現状と今後の展望」「野生動物が保有する家畜の病原体の調査のあり方と実際」について、講演いただき、悪性家畜伝染病に対する世界的な取り組みを紹介し、CADIC が培ってきた防疫研究の成果をこれからの悪性家畜伝染病制御にいかに関与していくべきか、意見交換を行う場を提供します。また、第 2 部では CADIC と共同研究を行なっているタイの動物感染症研究機関の研究者が、産業動物防疫に関する最新の研究内容を紹介し

本学としましては、これまで培ってきた研究成果とネットワークを生かし、本県をはじめとする各地の畜産業等を守ることに貢献していく所存でありますので、本シンポジウムの取材等についてご検討いただきますようお願い申し上げます。

記

- 日 時:令和 5 年 8 月 29 日(火)09:50-17:15
- 会 場:宮崎大学 330 記念交流会館
(対面形式と Zoom を用いたオンライン形式によるハイブリッド形式で実施)
- 対 象:畜産・獣医療に関わる研究者、行政関係者、一般市民
- 言 語:日本語・英語(同時通訳あり)
- その他:詳細は別紙チラシを御確認ください

<セミナーに関する問合せ先>

産業動物防疫リサーチセンター 教授 関口敏
TEL : 0985-58-7676
e-mail : sekiguchi@cc.miyazaki-u.ac.jp

<発信元>

企画総務部総務広報課(後田・廣谷)
TEL : 0985-58-7114
e-mail : kouhou@of.miyazaki-u.ac.jp



食料安全保障と持続可能な畜産のために 私たちは何をすべきか?

What should we do for food security and sustainable livestock production?



日時

同時通訳あり

8月29日

9:50~17:15 (受付開始9:20)

開催形式:対面とライブ配信によるハイブリッド

定員 **100** 名 / オンライン (ZOOM) **150** 名

参加費無料 事前予約制

※事前申し込みはこちらから ▶▶▶

場所 **宮崎大学330記念交流会館**

開会挨拶: 鮫島 浩 宮崎大学 学長

1. 養豚場への侵入を防止するためのアフリカ豚熱対策: 流行地域における私たちの経験

Roman Pogranichniy (カンザス州立大学・アメリカ)

2. エジプトにおける口蹄疫: 現状と今後の展望

Abdelfattah Selim (ベンハー大学・エジプト)

3. 野生動物が保有する家畜の病原体: その調査のあり方と実際

小林創太 (農研機構動物衛生研究部門)

【特別セッション】

地球規模課題対応国際科学技術協カプログラム (SATREPS)

挨拶 *Lerdchai Chintapitaksakul* (タイ国立動物衛生研究所・農業協同組合省畜産開発局)

1. 産業動物防疫リサーチセンターが取り組むSATREPSプロジェクトの概要について

三澤尚明 (宮崎大学)

2. 2022年から2023年にタイで分離されたアフリカ豚熱ウイルスの病原性と遺伝的特性

Tapanut Songkasupa (タイ国立動物衛生研究所・タイ)

3. カリフォルニア酪農農場のドライロット牛房における *Mycobacterium avium* subspecies *paratuberculosis* の生物汚染度を評価するための環境サンプリング

Tapakorn Chamchoy (タイ国立動物衛生研究所・タイ)

4. 高圧パルスジェットスプレーシステムを用いた鶏肉から食品由来病原体を除去するための新技術

Chanakan Chotiphutthikul (獣医研究開発センター・東部支所・タイ)

閉会挨拶: 吉田彩子 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター センター長

お問い合わせ先

宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

TEL.0985-58-7674

e-mail: cadic@cc.miyazaki-u.ac.jp

HP: <https://www.miyazaki-u.ac.jp/cadic/>

主 催: 宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

共 催: 宮崎大学農学部

特別共催: 公益財団法人宮崎県観光協会 MICE推進局

後 援: 農林水産省、宮崎県、日本獣医師会、8大学産業動物防疫コンソーシアム、

宮崎産業動物教育コンソーシアム委員会 (拡幅事業推進検討会)